

# 環境と健康



にぎわう作品展示会場(上)と、地元で開催された表彰式(下)

## 平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール

# 10周年を迎え「健康」分野スタート

## 小中学生から3万4千点の応募

平成20年に「環境啓発ポスター・標語コンクール」としてスタートした「環境と健康のポスター・標語コンクール」は、今年10周年を迎えました。今年度は、従来からの「環境」分野に、新たに「健康」分野を加えて募集を行い、23の公衛協に約3万4千点の作品が集まりました。各公衛協で選考され、648点の作品が当協会に推薦されました。

当協会では、これらの作品から特に優秀な作品を表彰してコンクール参加者を含む県民の環境や健康に対する意識の向上に取り組んでいます。選考にあたっては、教育や芸術・文化の専門家だけでなく、環境や健康、市民活動の視点をもつ8人の委員で構成する選考委員会、厳正な選考が行われました。

今年度は、12月1日に広島市の広島国際会議場「フェニックスホール」で開催される第58回広島県公衆衛生大会の席上で、受賞者の表彰式および受賞作品の紹介を行います。会場では、今年10周年を迎えたポスター・標語コンクールを記念し、今年の受賞作品を含めた過去10年間の全受賞作品の展示を行います。また、県内の各地域を巡回する10周年記念巡回展示会を実施中です。ぜひお近くの会場に足を運び、優秀な作品をご覧ください。

このコンクールで集められた優秀な作品は、例年、公衛協が地元で開催する展示会や広報、公衛協だよりで紹介されるほか、クリアファイルやボールペンに作品を印刷した啓発グッズとして、公衛協が展開する広報事業や啓発活動の中で活用されています。当協会ではコンクールを活性化するため、これらの活動を支援する経費助成を行っており、今年度は22の公衛協に助成を行います。

(地域支援課)

## 環保協60周年記念式典を開催

### 土井宇宙飛行士が講演

当協会は、平成29年12月4日に創立60周年を迎えます。今年度は、さまざまな関係の方々への感謝を込めて各種の記念事業を実施しています。そのメインである記念式典を平成29年12月1日(金)に広島国際会議場フェニックスホール(広島市中区中島町1-5)で開催します。今回は、創立当初から実施している広島県公衆衛生大会と同時開催とし、式典並びに大会を大いに盛り上げていきます。

当日は、午前中に1万人のエコチェック事業の結果を発表し、午後から第58回広島県公衆衛生大会並びに60周年記念式典を行います。詳細は、6面をご参照ください。今回の記念講演には、宇宙飛行士



の土井隆雄先生をお迎えして、「宇宙と地球環境」と題してお話いただきます。先生は、1987年に日本人で初めてスペースシャトルでの船外活動を行い、また2008年には日本が開発した有人宇宙施設「きぼう」

に乗り込んだ初の日本人となりました。一方で、天文家として超新星を発見されるなど、さまざまな活動を続けられています。現在は、京都大学特定教授に就任され、新しい宇宙総合学の探求と人材育成に力を入れています。講演では、今の地球環境についてお話いただきます。

この講演は、一般の参加も受け付けていますので、聴講をご希望の方は、当協会までお問い合わせください。(電話082-293-1511)

**さんせんか 琴線歌**  
今年60周年を迎える公衛協、この大切な節目に、優秀な前議長、庄原市会長の後を受け、理事と代表者会議の議長の大役を受け継ぐことになりました。責任の重さを実感するとともに身の引き締まる思いです。どうか皆さまの温かいご指導ご協力を強くお願いいたします。▼さて、今年もあちこちで大雨による大災害が発生しました。私事、公衛協に入ってから10数年を思い起こしても、気象変動は年を追うごとに変化し、地球温暖化・海や空の変化は目を見張るものがあります。子どもの頃のぼっかり浮かんだ白い雲、毎日が日本晴れの青い空の記憶が、今は薄暗い雲にぼやけた青空。海は透明度を保ちながらも廃プラスチックごみに悩まされ、また海水温の上昇に、生態系に影響が出ています。この厳しい環境を生み出したのも、みんな人間の業であります。▼これを自分たちの力で解決するため、日頃から公衛協の皆

**人と人の力を結集して前進**  
数年を思い起こしても、気象変動は年を追うごとに変化し、地球温暖化・海や空の変化は目を見張るものがあります。子どもの頃のぼっかり浮かんだ白い雲、毎日が日本晴れの青い空の記憶が、今は薄暗い雲にぼやけた青空。海は透明度を保ちながらも廃プラスチックごみに悩まされ、また海水温の上昇に、生態系に影響が出ています。この厳しい環境を生み出したのも、みんな人間の業であります。▼これを自分たちの力で解決するため、日頃から公衛協の皆

さんは精一杯のご努力をされていると思えます。心から感謝申し上げます。一方でコミュニティの活性化も十分とは言えず、地域活動の協力関係の希薄化、奉仕の精神の薄れも懸念されます。特に最近は大統領の発言などもあり、人々が世界的動向に右往左往し、自分たちの足元を見失っているように感じます。▼このように難しい状況ではありますが、私たちが公衛協がやらなければ、誰も後につく者もありません。また、私たち公衛協は住民の皆さんの協力がなくては前に進めません。▼大自然の摂理を守るためには、私たち自身が一つの目標に向かい和し、環境と健康を守る輪の実践を強力に広げていかなければなりません。哲学者カントの言葉に「人の人たる所以は人と人の結合にあり」とあります。公衛協の皆さんの力の結集と活躍を切に願います。

(地区衛生組織代表者会議議長 今津俊昭)

おかげさまで60年



住みよい未来をこれから

## 一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

